

## 第1回 上越市地域福祉計画策定委員会 次第

日 時 令和4年6月29日（水）11時～  
会 場 上越文化会館 大会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 挨拶

4 委員紹介

資料：委員名簿

5 議事

(1) 委員長・副委員長の選任

資料：第2次地域福祉計画冊子

(2) 委員会の運営等について

資料：No.1

(3) 第3次上越市地域福祉計画の基本的な考え方について 資料：No.2～No.3

6 その他

7 閉 会

## 上越市地域福祉計画策定委員名簿

(委員区分・五十音順、敬称略)

選出区分		氏名	所属等
1	学識経験者	青木 茂	新潟医療福祉大学 社会福祉学部 教授
2		佐藤 将朗	上越教育大学 臨床・健康教育学系 准教授
3	福祉団体・福祉事業関係者	井部 佐恵子	上越市民生委員児童委員協議会連合会 副会長
4		滝澤 愛子	地域包括支援センター府中会 主任
5		吉崎 譲	社会福祉法人上越市社会福祉協議会 地域福祉課長
6		渡邊 長芳	上越地区保護司会 副会長
7	その他諸団体の関係者	北峰 恵祐	上越人権擁護委員協議会
8		古澤 悦雄	上越市町内会長連絡協議会 理事
9	医療関係者	佐藤 正孝	上越歯科医師会 さとう歯科クリニック
10		藤原 敬人	上越医師会 藤原医院
11	教育関係者	竹田 正子	上越市校長会 板倉小学校長
12	関係行政機関の職員	木宮 真	上越地域振興局健康福祉環境部 副部長
13		田中 勝	上越公共職業安定所 統括職業指導官
14	公募による市民	金子 光洋	市民
15		牧井 弥生	市民

任期：令和4年6月29日から令和5年3月31日

## 委員会の運営等について（案）

### 1 会議時間について

- ・ 1回の会議について概ね2時間程度までとする。

### 2 会議情報の公開について

#### (1) 会議及び会議録の公開

- ・ 会議及び会議録については、「上越市審議会等の会議の公開に関する条例」及び「上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則」に基づき、原則として公開する。

#### (2) 委員名簿の公開

- ・ 委員名簿は、公開するものとする。名簿には、名前、所属、役職を記載し、さらに委員会の役職名（委員長、副委員長）を記載する。

#### (3) 会議資料及び会議録の公開方法

- ・ 会議資料は、原則として会議終了後、市のホームページで公開する。
- ・ 会議録は、会議における議事の経過及び発言の要旨とし、事務局が作成後、委員長及び副委員長の確認を経て会議資料と同様の方法により公開する。
- ・ なお、発言者の委員名についても公開する。

### 3 審議の進め方

- ・ 議事は、委員個人の意見ではなく、合議により委員会としての全体意見を集約しながら進める。運営上の確認事項が生じた場合は、委員長は委員会に諮って決定する。
- ・ 各委員の発言時間を十分確保しながら、効率的・効果的な会議とするため、事務局は事前に資料を提供するとともに、簡潔に説明するよう努める。

### 4 委員会の日程

#### ○第1回策定委員会（6月29日）

- ・ 委嘱状の交付、委員長・副委員長の選任
- ・ 委員会の運営等について
- ・ 第3次上越市地域福祉計画の基本的な考え方について

#### ○第2回策定委員会（7月下旬～8月上旬）…基本目標案等について

#### ○第3回策定委員会（9月中旬～下旬）…計画素案について

#### ○第4回策定委員会（11月中旬～下旬）…計画案について

---パブリックコメントの実施：1月中---

#### ○第5回策定委員会（3月中旬～下旬）…計画最終案について

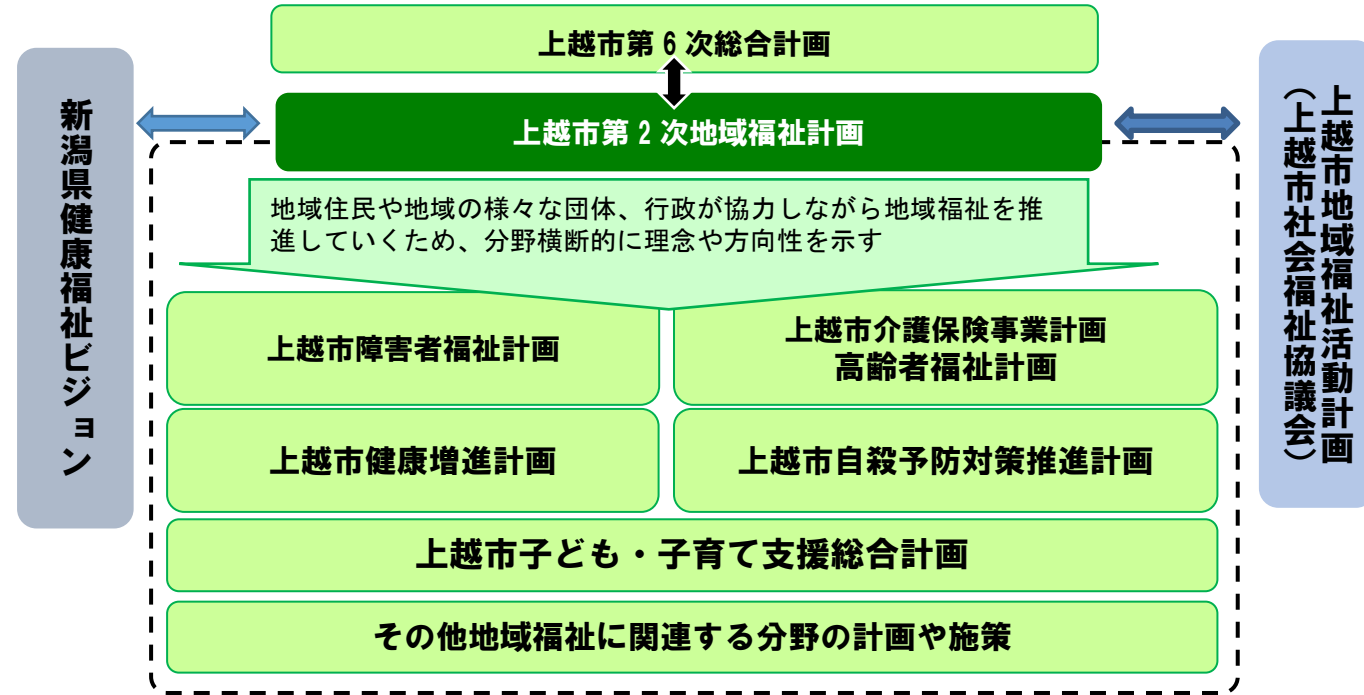
1 計画の位置付けと計画期間、他の計画との関係

(1) 計画の位置付け

- ・社会福祉法で、**市町村が策定するよう努める**とされている計画
- ・地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉などの各分野で共通して取り組む事項を一体的に定める計画として位置づけ
- ・当市では、健康福祉に関連する各種計画を包含し、福祉関係施策を総合的に推進するための**理念計画**として策定

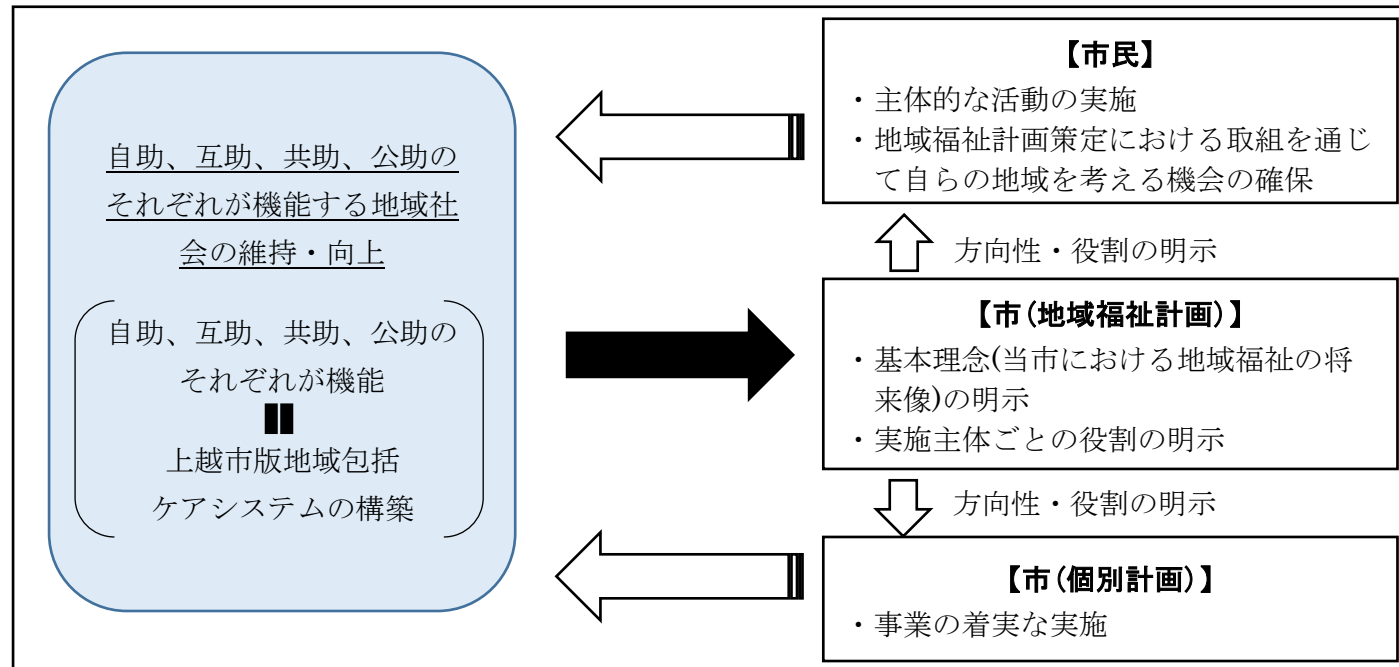
(2) 計画期間 令和元年度から令和4年度までの4年間

(3) 他の計画との関係性



2 目指すべき姿

自助、互助、共助、公助の各々が機能する地域社会の維持・向上＝「上越市版地域包括ケアシステム」の構築



3 計画の基本理念等

(1) 基本理念

- ・誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現

(2) 基本目標

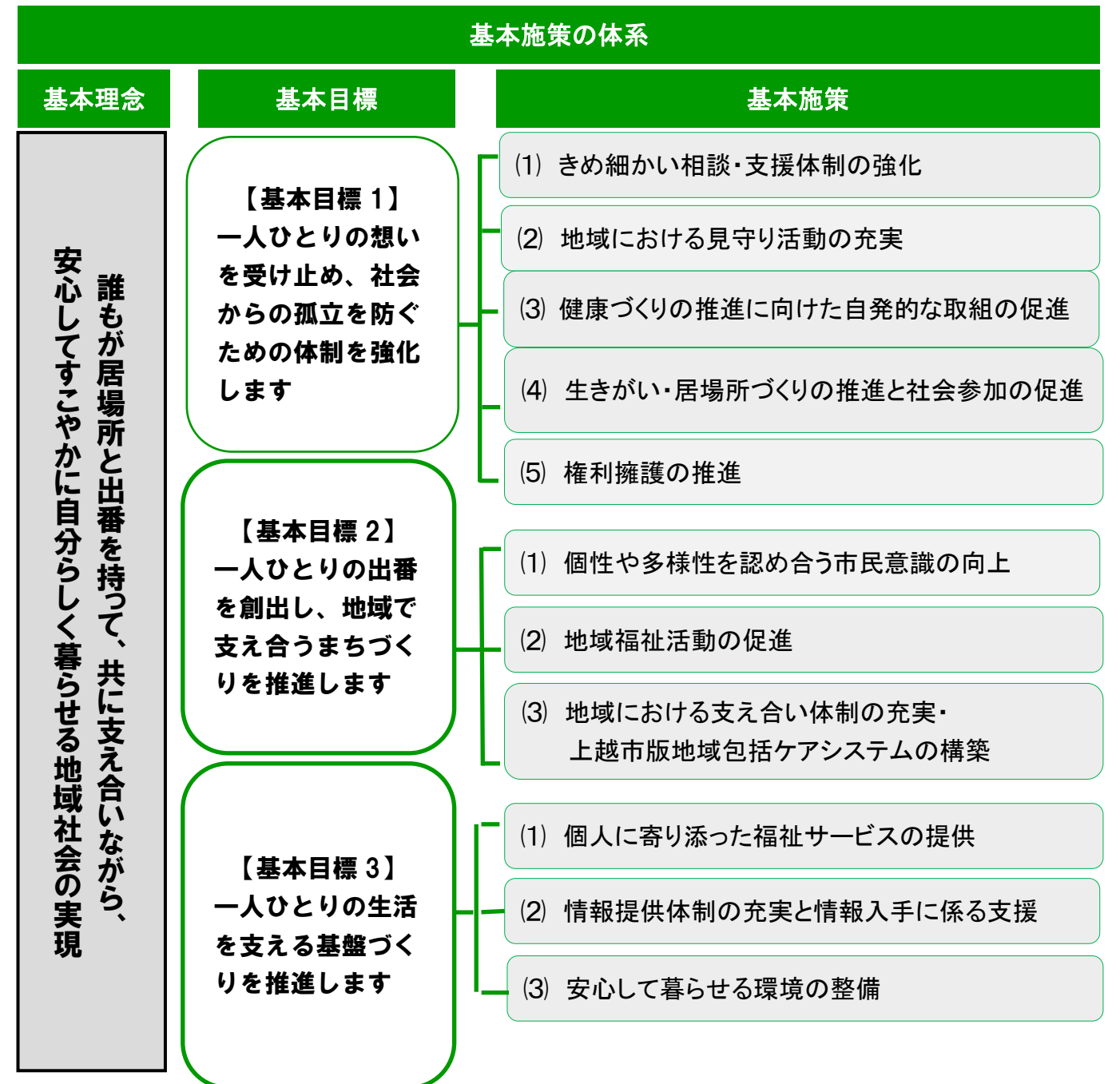
基本理念を実現するため、以下の3つの目標を設定

目標1：一人ひとりの想いを受け止め、社会からの孤立を防ぐための体制を強化します

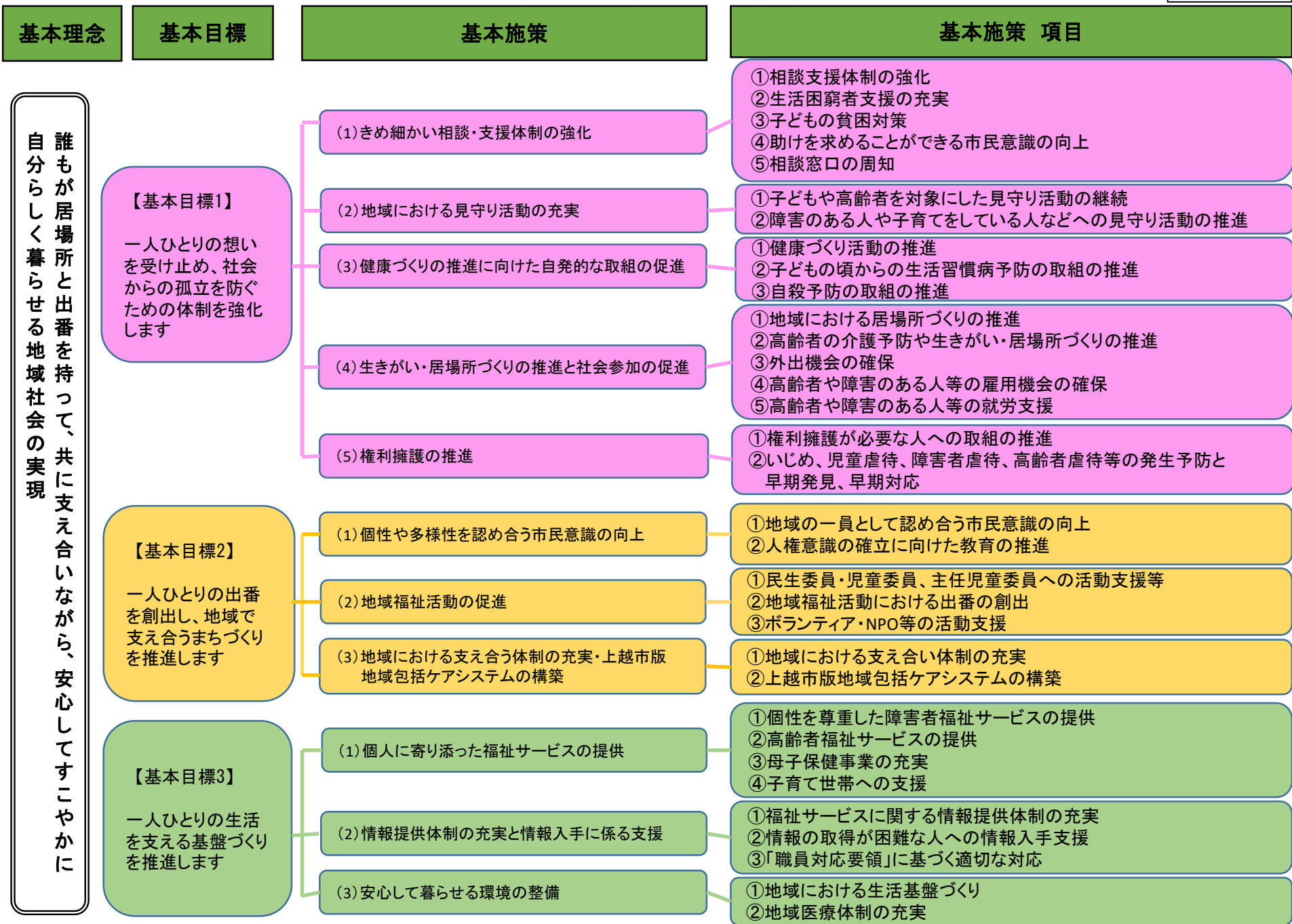
目標2：一人ひとりの出番を創出し、地域で支え合うまちづくりを推進します

目標3：一人ひとりの生活を支える基盤づくりを推進します

(3) 計画の体系



## 上越市第2次地域福祉計画の体系



# 第7次総合計画策定に向けた検討フロー

## 現状とこれからのまちづくりの考察

## 第7次総合計画

### ◇ 現状・課題など【第1回審議会で説明・議論】

#### 人口減少の進行・影響

資料No.2 (前回の補足説明)

- 人口減少とともに少子化・高齢化が進行、今後加速
- 世帯構成が変化 (単身化・核家族化の進展)
- 担い手不足や地域コミュニティ活動の減少 など

#### 社会の潮流

- 人口減少・少子高齢化社会の本格的な到来
- ライフスタイルや価値観の多様化
- 安心・安全に対する意識の高まり
- 地球規模での環境問題の深刻化
- 人生100年時代を見据えた誰もが活躍できる社会
- 経済情勢や産業構造の変化
- 情報通信技術の進展
- 持続可能なまちづくり

#### 第6次総合計画の評価・検証

##### まちの主要指標の動向

- 人口・世帯、経済、財政の各種指標の最新動向を把握

##### 基本政策・重点戦略の検証

- 行政内部において、政策分野別・重点戦略ごとに、取組の成果や課題を整理

##### 市民の声アンケート

- 市民生活の実態や実感等を把握
- 市民 5,000人 回収数 2,271人

### 第7次総合計画の策定に向けて

#### 策定の趣旨

- 持続可能なまちづくりを総合的かつ計画的に推進

#### 策定の視点

- 人口減少社会への対応
- 上越ならではの豊かな暮らしの確立
- まちの力・地域の力の向上
- 未来志向のまちづくりの推進

### ◇ 市民の意見・思い

#### 総合計画審議会 (第1回)

- 各分野の有識者や市民活動団体の代表者など30人で構成
- 全参加委員から意見を聴取

#### グループインタビュー

参考資料1

- 上越市内でまちづくり活動等を実施している20団体へインタビューを実施
- インタビュー人数：延べ85人

#### まちづくり市民意見交換会

参考資料2

- 市内4会場で5日間実施
- 参加者数：延べ72人

#### まちづくりに関する意見募集 (Web)

- 市ホームページ上で広く意見を募集
- 寄せられた意見：延べ65件

#### ありたい姿

- 行政の立場から、ありたい姿を検討

#### 抽出・整理

#### 魅力や強み・不安や弱み

参考資料3

### ◇ まちづくりの方向性

#### まちづくりに込める思い

資料No.3

参考資料4

- 長期的な展望に立ち、目標となる2040年の上越市のありたい姿を描きます。

#### 将来都市像

資料No.4

- ありたい姿の実現に向けた視点を踏まえ、2030年に上越市が目指す将来都市像を示します。

※第3回以降に審議予定

#### 基本政策など

#### 基本計画

ありたい姿の実現に向けた「まちづくりに込める想い」（基本理念）の整理

◇ 各分野の2040年のありたい姿

参考資料4

No.	ありたい姿（キーワード）
6	あらゆる災害への備えが整っている
7	誰もが災害時に自分がとるべき行動を理解し、相互に共有している
8	犯罪や交通事故が少なく、まちの安全安心が守られている
11	健康寿命が延伸し、自立した暮らしを送っている
12	必要なときに必要な医療を受ける体制が整っている
27	機能的・安定的な都市基盤が整い、市外・県外とつながっている
28	車を運転できなくても安心して生活できる環境が整っている
29	空き地や空家等の利活用が促進され、地域コミュニティが維持されている
31	持続可能な行財政運営が行われている
1	自分らしい生き方ができている
2	多様性が認められ、誰一人取り残されない社会となっている
13	高齢者や障害者がいきいきと暮らせる居場所を持ち、活躍している
3	市民一人一人が地域に愛着や誇りを感じている
4	若者が戻り、移住する人が増えている
5	あらゆる主体が「自分事」としてまちづくり・地域づくりに関わっている
22	中山間地域の暮らしと文化が継承され、多くの人に認められている
24	学校や地域が一体となって、子どもたちの成長を支える環境が整っている
9	良好な生活環境や豊かな自然環境が維持されている
10	市民・企業の主体的な行動により、カーボンニュートラルが大きく進んでいる
16	地域経済の好循環が生まれ、まちに活気が生まれている
17	市内企業が全国、世界で活躍している
18	多くの人を訪れ、まちに賑わいがあふれている
21	農林水産業の魅力と価値が高まり、生業として確立している
26	地域の伝統文化が守られ、地域のかけがえのない魅力となっている
30	憩い・集い・くつろげる質の高い空間が形成されている
14	このまちで子育てしたいと思う人が増えている
15	子どもが健やかに育っている
19	多様な人材が集う、魅力ある雇用の場が創出されている
20	希望するワーク・ライフ・バランスに応じた働き方が定着している
23	子どもたちが自分の未来を描き、主体的に行動できる力が身についている
25	多様な学び方が選択できる教育環境が整っている

◇ 検討の視点

ありたい姿の共通事項

① 安心な暮らし

- 社会や環境の大きな変化に対しても、柔軟かつしなやかに対応することができ、人や地域のつながり・支え合いの下で、安心して暮らすことができるまちとなっている

④ 魅力と賑わい・交流が生まれる

- 奥深い歴史と自然が共存する当市ならではの魅力を磨き、その価値を高め、さらには広く認知される中で、新たな交流・賑わいが生まれるまちとなっている

② 多様な暮らし

- 市民一人一人が、その年齢や性別、個性や価値観にかかわらず、居場所と出番があり、生きがいを感じながら、自分らしく働き、暮らし、活躍できるまちとなっている

⑤ 夢や希望、未来を育む

- 若者をはじめ、市民一人一人が学び、挑戦し、活躍できる環境が整い、未来に向かって希望や夢を抱き、実現できるまちとなっている

③ つながり、共に創る

- 行政、地域、事業者、団体、個人など、多様な主体が手を取り合いながら、「自分事」として市民生活やまちの様々な課題の解決に取り組み、新たな価値を共に生み出すまちとなっている

上越らしさ  
（私たちの「あたりまえ」の中にある大切にしたいまちの価値）

自然との共生

- 雪国だからこそ感じられる自然への畏怖の念、四季折々の美しい自然とともに生きる喜び。豊かな自然と風土の中で育まれた恵みをいかした食。季節に寄り添った暮らしを、あまた享受している

先人が紡いできた歴史・文化

- 上杉謙信公の居城であった春日山をはじめとした当市ならではの奥深い歴史や文化、その精神性が連綿と受け継がれている

共助の精神

- 雁木に象徴される雪国の暮らしや古から当地の生業を支えてきた農業を通じて、思いやりや支え合い、助け合いの精神が宿っている

◇ まちづくりに込める想い

基本理念

上越市ならではの  
快適で幸せな暮らし

世代を超えて、全ての市民が、誰一人取り残されることなく、安心感や幸福感、満足感に包まれながら、自分らしく健やかに暮らし、のびやかに学ぶことができる当市ならではの快適で幸せな暮らしを実現する